

令和2年2月定例会 総務委員会（事前）

令和2年2月6日（木）

〔委員会の概要 県民環境部関係〕

岡田委員長

休憩前に引き続き、委員会を開きます。（15時47分）

これより、県民環境部関係の調査を行います。

この際、県民環境部関係の2月定例会提出予定議案について、理事者側から説明を願うとともに、報告事項があれば、これを受けることにいたします。

【提出予定議案】（説明資料、資料1）

- 議案第1号 令和2年度徳島県一般会計予算
- 議案第5号 令和2年度徳島県母子父子寡婦福祉資金貸付金特別会計予算
- 議案第38号 徳島県次世代はぐくみ未来創造基金条例の制定について
- 議案第39号 徳島県生活環境保全条例の一部改正について
- 議案第40号 徳島県立中央武道館の設置及び管理に関する条例の一部改正について

【報告事項】

- 「第2期徳島はぐくみプラン（後期計画）」（案）について
（資料2-1, 2-2）
- 第二期徳島県子ども・子育て支援事業支援計画（案）について
（資料3-1, 3-2）
- 徳島こども未来応援プラン～徳島県社会的養育推進計画～（案）について
（資料4-1, 4-2）
- 徳島県ひとり親家庭等自立促進計画（案）について（資料5-1, 5-2）
- 「徳島県気候変動対策推進計画（緩和編）」（案）について
（資料6-1, 6-2）
- 東京2020オリンピックネパール代表チーム事前キャンプ実施に関する協定の締結について（資料7）

板東県民環境部長

それでは、お手元にお配りしております総務委員会説明資料によりまして、2月定例会に提出を予定しております県民環境部関係の案件及び令和2年度主要施策の概要につきまして、御説明申し上げます。

今回、御審議いただきます案件は、令和2年度一般会計・特別会計予算案及び債務負担行為、並びにその他の議案等といたしまして条例案が、改正を含め3件でございます。

説明資料の1ページをお開きください。

令和2年度県民環境部主要施策の概要について、3ページまで16項目を記載しておりますので、御説明申し上げます。

1の県民との協働事業の推進では、県民の参加と協働による地域づくりを実現するた

め、NPOなどの社会貢献活動を促進する各種支援事業を行い、県民との協働事業の推進を図ってまいります。

2の人権を尊重する社会づくりの推進では、徳島県人権教育・啓発に関する基本計画に基づき、各種啓発事業を実施するとともに、市町村や民間団体と連携・協力を図り、人権啓発を推進するための取組を支援してまいります。

3の男女共同参画社会づくりの推進では、徳島県男女共同参画基本計画に基づき、各種施策を推進するとともに、男女共同参画の総合的な推進拠点である、ときわプラザの更なる支援機能の充実を図るため、女性活躍ワンストップサービスセンター（仮称）を整備いたします。また、配偶者等からの暴力の根絶を目指し、普及啓発や相談体制・保護体制の充実、自立支援に取り組むとともに、性暴力被害者支援センター、よりそいの樹とくしまを運営し、女性に対するあらゆる暴力防止に関する対策を推進してまいります。

4の次世代育成支援対策の推進では、希望出生率1.8をかなえるため、少子化対策をより一層強化し、結婚、妊娠・出産、子育てまでの一貫した切れ目のない支援を実施するとともに、子ども・子育て支援新制度の円滑な実施に向け、待機児童解消に向けた保育士確保や認定こども園等の整備、新・放課後子ども総合プランの着実な推進など、地域の実情や子育て家庭の多様なニーズに応じた子育て環境の向上に努めてまいります。また、複雑多様化する児童虐待問題に対応するため、こども女性相談センター職員の専門性向上を図り、体制を強化するとともに、広報・啓発事業を実施するほか、関係機関相互の連携強化により、虐待事案の解消に当たります。さらに、ひとり親家庭の自立に向けた幅広い施策を総合的に推進するなど、貧困の連鎖を防いでまいります。

2ページをお開きください。

5の青少年対策の推進では、とくしま青少年プラン2017に基づき、全ての青少年が自立・活躍できる「とくしま」の実現に向け、社会生活に困難を抱える青少年の連携支援や非行防止に向けた環境づくり等、県民総ぐるみによる青少年育成を推進してまいります。

6の総合的な環境施策の推進では、環境首都・新次元とくしまの実現を目指し、環境活動連携拠点、エコみらいとくしまにおいて、各種環境施策の推進や多様な環境活動の一元的な支援を実施し、県民の環境に関する意識を高め、県民総ぐるみでの脱炭素、循環型社会の構築を推進してまいります。

7の気候変動対策の推進では、脱炭素社会の実現に向け、緩和策と適応策を両輪とした取組を展開し、徳島県脱炭素社会の実現に向けた気候変動対策推進条例に基づく、総合的な気候変動対策を実施してまいります。また、自然エネルギー立県とくしま推進戦略に基づいたエネルギーの地産地消や、徳島県水素グリッド構想に基づいた水素社会の早期実現に向けた取組を推進してまいります。

8の人と自然との調和の推進では、本県の貴重な自然について、適正な保護と利用を図りながら、自然公園等の施設整備に努めるとともに、希少野生動植物の保護や生物多様性の確保に努めてまいります。

9の循環型社会形成の推進では、第四期徳島県廃棄物処理計画に基づき、廃棄物の発生抑制や、再使用・再生利用などによる資源の循環的な利用を基調とする社会形成に努めてまいります。

10及び11の産業廃棄物・一般廃棄物処理対策の推進では、処理業者に対する立入調査や

県独自の優良処理業者認定制度等により、産業廃棄物の適正処理を推進するとともに、一般廃棄物の減量化・再使用・再生利用及び適正処理を推進するため、関係市町村等に対して技術的援助を行ってまいります。

3ページを御覧ください。

12の大気汚染・水質汚濁・土壌汚染等対策の推進では、公害防止対策の推進を図るため、大気・水質等の常時監視や発生源に対する指導等を行うとともに、瀬戸内海の環境の保全に関する徳島県計画に基づき、地域の力による人と自然が共生した豊かな海、いわゆる里海づくりの推進を図るなど、環境保全の取組の強化に努めてまいります。

13の環境影響評価の推進では、開発行為の実施に際し、環境影響評価の審査及び指導を行い、生活環境や自然環境の保全に努めてまいります。

14の文化の振興では、東京2020オリンピック・パラリンピックやワールドマスタースゲームズ2021関西、更には2025年の大阪・関西万博を絶好の機会と捉え、あわ文化4大モチーフやあわ三大音楽を中心に、あわ文化の魅力を国内外に発信するとともに、二度の国民文化祭の成果を継承・発展させるため、県民が主役となる文化活動の積極的な展開を推進し、次世代・後継者育成や交流人口の拡大、地域活力の向上を図ってまいります。

15のスポーツの普及振興では、総合型地域スポーツクラブ等を活用した健康づくりと地域の活性化を進めるとともに、競技力の向上に向けたトップレベル競技者・指導者の育成や施設等の整備を図ってまいります。また、本年開催となる東京2020オリンピック・パラリンピックの事前キャンプ実施やワールドマスタースゲームズ2021関西の開催準備を進め、国際スポーツ大会を通じたレガシーの創出・継承を図ってまいります。

16の文化財の保存・活用の促進では、文化財の将来的な継承や利活用を通じて徳島の魅力発信を図るため、地域の特色を示す様々な文化財の保存措置や環境整備、改善を実施してまいります。また、鳴門市等と協力し、板東俘虜収容所関係資料のユネスコ「世界の記憶」登録に向けた取組を推進するとともに、四国八十八箇所霊場と遍路道及び鳴門の渦潮の世界遺産登録を目指した施策展開を図ってまいります。

続きまして、4ページをお開きください。

令和2年度一般会計予算についてでございます。

県民環境部の令和2年度一般会計当初予算案の総額は、表の左から2番目A欄の最下段に記載のとおり、172億2,332万3,000円となっております。

5ページを御覧ください。

特別会計についてでございます。

次世代育成・青少年課所管の母子父子寡婦福祉資金貸付金特別会計におきまして、3億385万円を計上しております。

なお、前年度当初予算が骨格予算として編成されたものであることから、参考といたしまして、前年度6月補正後の予算額と令和2年度当初予算額を比較した、資料1をお手元にお配りしておりますので御覧ください。

説明資料の6ページをお開きください。

各課別の主要事項につきまして、主なものを御説明申し上げます。

県民環境政策課関係でございます。

目名、計画調査費の摘要欄②、イのとくしまパートナーシップ推進事業では、NPO、

ボランティアなどの社会貢献活動を促進するため、個別相談や各種研修、アドバイザーの派遣等を実施する経費として、4,441万8,000円を計上しております。

7ページを御覧ください。

目名、環境衛生総務費の摘要欄③「未知への挑戦」実装費では、新たな行政課題に柔軟かつ迅速に対応するための経費、500万円を計上しております。

その他、県民環境部の給与費などを計上しており、県民環境政策課の予算総額は、25億5,534万1,000円となっております。

8ページをお開きください。

男女参画・人権課関係でございます。

目名、計画調査費の摘要欄①、アの女性・若者が主役へ！地域参画人財育成事業では、地域の核となる将来の女性・若者リーダー育成や啓発事業などを実施するための経費、900万円を計上しております。

目名、青少年女性対策費の摘要欄②男女共同参画交流センター運営費では、男女共同参画の拠点施設である、ときわプラザを運営するとともに、女性活躍ワンストップサービスセンター（仮称）を整備するための経費、1億4,901万9,000円を計上しております。

目名、社会福祉施設費の摘要欄①社会福祉施設整備事業費では、イの隣保館整備事業費補助金など、6,213万8,000円を計上しております。

9ページを御覧ください。

目名、婦人保護費の摘要欄①、アの（ア）性暴力被害者支援センター運営費では、よりそいの樹とくしまの運営に要する経費など、745万円を計上しております。

目名、人権施策推進費の摘要欄①人権啓発推進費では3,996万3,000円を計上しており、イのみんなが主役の人権啓発推進事業やウの若者発！人権啓発映像コンテンツ発信事業など、人権啓発事業を推進してまいります。

10ページに移りまして、摘要欄②人権教育啓発推進センター運営費では、人権教育啓発の推進拠点である、あいぽーと徳島の運営費として、8,056万円を計上しております。

以上、男女参画・人権課の予算総額は、7億3,284万9,000円となっております。

11ページを御覧ください。

次世代育成・青少年課関係でございます。

目名、計画調査費の摘要欄①、アの若者未来プラン実装事業では、若者の社会参画や政策・方針決定過程への参画を推進し、地方創生の若手リーダーを育成するための経費200万円を、また、ウの企業が応援！「チーム育児」推進プロジェクトでは、子育て中の社員への支援を積極的に行う県内企業の取組事例を発信し、チーム育児を普及推進するための経費100万円をそれぞれ計上しております。

目名、青少年女性対策費の摘要欄①青少年健全育成対策費では、アの（ア）「困難を抱える青少年をサポート！」ネットワーク推進事業などにより、全ての青少年の自立・活躍を目指した青少年対策を推進するための経費、748万8,000円を計上しております。

摘要欄③青少年センター管理運営費では、とくぎんとモニプラザの管理運営に係る経費、9,349万3,000円を計上しております。

また、目名、児童福祉総務費の摘要欄②児童虐待防止等対策費では、児童虐待の発生予防から、迅速・的確な対応、アフターケアまで切れ目のない支援を図るため、児童虐待防

止体制を強化する経費など、4,167万円を計上しております。

12ページに移りまして、摘要欄④児童健全育成対策費では、アの放課後児童対策事業費やイの（イ）とくしま結婚支援プロジェクト加速化事業、（ウ）子育てパパ・ママサポート事業、（オ）とくしま在宅育児応援クーポン事業など、本県の少子化対策をより一層、充実・強化するため、地域の実情に応じた結婚、妊娠・出産、子育ての切れ目のない支援を実施する経費、7億2,573万4,000円を計上しております。

また、摘要欄⑥特別保育対策費では、アのとくしま子育てはぐくみ応援推進交付金事業やウの多様な子育て支援推進交付金事業、エのとくしま保育対策総合支援補助金事業など、子育て家庭の多様なニーズや、地域や事業者等の実情に応じた子育てを支援するための経費、6億9,155万6,000円を計上しております。

摘要欄⑦児童相談所費では、要保護児童の家庭的養育を一層推進するため、アの被虐待児等すこやか育成事業として、市町村の相談支援体制強化、児童養護施設の小規模かつ地域分散化等に要する経費、5,669万6,000円を計上しております。

13ページを御覧ください。

摘要欄⑨子育て支援臨時特別対策費では、各種少子化対策を機動的に推進できるよう、安定した財政基盤を確立するため、次世代はぐくみ未来創造基金を創設する経費など、3億58万3,000円を計上しております。

続きまして、目名、母子福祉費の摘要欄①母子福祉等対策費では、様々な悩みを抱える、ひとり親家庭等に対する総合的な支援に要する経費など、9,802万9,000円を計上しております。

以上、次世代育成・青少年課の予算総額は、100億6,860万4,000円となっております。

14ページをお開きください。

次世代育成・青少年課所管の母子父子寡婦福祉資金貸付金特別会計でございます。

母子家庭、父子家庭及び寡婦の経済的自立の助成を図るための経費、総額3億385万円を計上しております。

15ページを御覧ください。

環境首都課関係でございます。

目名、環境衛生指導費の摘要欄①、アのエシカル消費で脱炭素へ！県民運動推進事業では、多様な主体との連携により、環境と消費を統合した県民運動へとつなげる啓発などを展開するための経費、724万5,000円を計上しております。

また、イの食品ロス削減とくしまモデル推進事業では、新たに食品ロス削減に係る県計画を策定するとともに、計画に基づく各種施策を実施するための経費250万円を、ウの「環境と経済の好循環」による気候変動対策推進事業では、脱炭素社会の実現に向けた県民・事業者のライフ・ビジネススタイルの転換を促進するため、産学官金による協議会を設立し、各種施策を行う経費250万円を、エのプラスチックごみ資源循環推進事業では、プラスチックごみ削減や代替プラ製品の導入促進のため、産学官による研究会の立ち上げや先行して取り組む県内企業への支援を行う経費400万円を、それぞれ計上しております。

また、コの「地方発！水素社会」普及促進事業では、水素エネルギー普及拡大を加速させるため、水素モビリティ導入促進や地域経済活性化につながる取組を展開する経費1億

1,100万円を、サの「自立・分散型電源」導入支援事業では、自然エネルギーを活用した自立・分散型電源導入促進のため、各種施策を展開する経費1,155万円を、それぞれ計上しております。

16ページに移りまして、摘要欄②、アの（ウ）希少野生生物を活かした地域の魅力発信事業では、生態系の保全や持続可能な活用を推進するための経費、746万3,000円を計上しております。

以上、環境首都課の予算総額は、6億6,088万9,000円となっております。

17ページを御覧ください。

環境指導課関係でございます。

目名、環境衛生指導費の摘要欄②、イの（ア）第五期徳島県廃棄物処理計画策定事業では、廃棄物の排出抑制、再生利用等による廃棄物の減量化を図るため、県内における具体的な計画を策定するための経費、890万円を計上しております。その他、廃棄物の発生抑制や適正処理を促進するための経費を計上しており、環境指導課の予算総額は、1億7,251万9,000円となっております。

18ページをお開きください。

環境管理課関係でございます。

目名、公害対策費の摘要欄④、アの（イ）未来へつなぐ「とくしまSATOUMI」推進事業では、豊かな海、いわゆる里海づくりを推進するため、水質の測定体制の整備や水と人とのふれあい事業等を実施する経費、1,393万8,000円を計上しております。

19ページを御覧ください。

摘要欄⑤分析測定機器等整備事業費では、環境基本法において環境基準が定められている大気汚染物質のモニタリング調査に必要な装置の更新経費など、3,417万6,000円を計上しております。

以上、環境管理課の予算総額は、2億1,418万5,000円となっております。

20ページをお開きください。

県民文化課関係でございます。

目名、計画調査費の摘要欄②、ア及び目名、文化及び文化財費の摘要欄①、アのあわ文化魅力向上事業では、東京2020オリンピック・パラリンピックなどの開催を絶好の機会と捉え、あわ文化4大モチーフやあわ三大音楽を中心に、県民主役のあわ文化の更なる魅力の向上と国内外への発信に取り組む経費として、合わせて9,077万9,000円を計上しております。また、イのあわ文化創造事業では、未来に誇るあわ文化を創造し次代に継承していくため、活力と魅力あふれる県民主体の取組を促進する経費等5,000万円を計上し、うち（ア）あわ文化創造支援費補助金として、県民の文化活動の充実に向けた取組を支援するため、3,000万円を計上しております。

以上、県民文化課の予算総額は、5億8,485万7,000円となっております。

21ページを御覧ください。

スポーツ振興課関係でございます。

目名、計画調査費の摘要欄②、アのワールドマスターズゲームズ2021関西開催準備加速化事業では、来県者へのおもてなしの充実や競技運営態勢の整備等、開催に向けた本格的な準備のための経費、1億6,500万円を計上しております。同じく、イ及び目名、体育振

興費の摘要欄④, イの東京オリンピック・パラリンピック事前キャンプ受入事業では, ホストタウン相手国代表チームの事前キャンプ受入れのための経費として, 合わせて2億3,500万円を計上しております。

また, 目名, 計画調査費の摘要欄②のウ及び目名, 体育振興費の摘要欄④のウ, とくしまスポーツレガシー実装事業では, 国際スポーツ大会を通じて創出されたレガシーをより確かなものとするため, ホストタウン対象国との相互交流や大会等の誘致を行う経費として, 合わせて5,100万円を計上しております。

目名, 体育振興費の摘要欄①, エの東京オリンピック・パラリンピック徳島未来創造基金積立金では, 県民主役のスポーツ・文化振興をより一層加速させるため, 基金を積み増す経費, 5億79万1,000円を計上しております。

摘要欄③県運動公園等体育施設管理運営費では, 鳴門総合運動公園, 蔵本公園, 中央武道館の管理運営に要する指定管理料のほか, 令和4年度の全国高等学校総合体育大会の開催に向け整備する陸上競技備品等の更新経費, 4億7,523万9,000円を計上しております。

22ページに移りまして, 摘要欄⑤競技スポーツ重点強化対策費では, オリンピック選手の輩出及び国体の順位向上を図る経費など, 2億2,784万8,000円を計上しております。

以上, スポーツ振興課の予算総額は, 18億1,303万9,000円となっております。

23ページを御覧ください。

文化資源活用課関係でございます。

目名, 計画調査費の摘要欄②, イの(イ)及び目名, 文化及び文化財費の摘要欄, アの阿波文化遺産次世代継承事業では, 文化財の次世代への継承を図るため, 文化財保護・活用の指針となる大綱の策定や文化財・建造物の防火対策を推進する経費として, 合わせて683万円を計上しております。

同じく, イの阿波の「民俗文化財」伝承推進事業では, 民俗文化財の次世代への継承等を図るため, 未指定文化財の基礎調査や普及啓発活動を行う経費700万円を, また, ウの未来への継承!とくしまの「埋蔵文化財」ディスカバリー事業では, 埋蔵文化財の保存・活用を図るため, 重要文化財を中心とした特別展を開催するとともに, 新たな重要文化財等の指定を目指した調査のための経費, 1,780万円をそれぞれ計上しております。

以上, 文化資源活用課の予算総額は, 4億2,104万円となっております。

24ページをお開きください。

債務負担行為についてでございます。

スポーツ振興課所管のカヌースラロームコース設営撤去工事請負契約では, ワールドマスターズゲームズ2021関西で使用するカヌー・スラロームコースの設営撤去工事に要する費用として, 令和3年度に500万円の債務負担行為, 限度額の設定をお願いするものでございます。

25ページを御覧ください。

その他の議案等について, 御説明いたします。

(1) 条例案につきましては, 改正も含め, 3件の条例案を今議会に提出することとしております。

アの徳島県次世代はぐくみ未来創造基金条例につきましては, 徳島県の未来を創造する次世代の人材を育み, 人口減少を克服するために, 県民の結婚, 妊娠・出産及び子育てに

対する支援，その他の次世代育成並びに地方創生に資する事業に要する経費に充てるため，徳島県次世代はぐくみ未来創造基金を設置するものでございます。

26ページをお開きください。

イの徳島県生活環境保全条例の一部を改正する条例につきましては，水質汚濁防止法施行令の一部が改正されたことに伴い，所要の整理を行う必要があることから，改正を行うものでございます。

次に，ウの徳島県立中央武道館の設置及び管理に関する条例の一部を改正する条例につきましては，徳島県立中央武道館に冷暖房施設を新設することに伴い，使用料の額について所要の整理を行う必要があることから，改正を行うものでございます。

以上が，今議会に提出を予定いたしております案件でございます。

続きまして，6点御報告させていただきます。

初めに，計画案について5点御説明申し上げます。

お手元にお配りしております資料2から6までの各計画案につきましては，さきの11月定例会におきまして素案を御報告させていただいたところでございますが，その後，県民の皆様方からの御意見をお聴きするため，パブリックコメントを実施するとともに，審議会等での御意見を踏まえ，計画案としてまとめたところでございます。

それでは，資料2-1を御覧ください。

「第2期徳島はぐくみプラン（後期計画）」（案）についてでございます。

現計画が今年度末に終期を迎えることから，これまでの成果や課題，幼児教育・保育の無償化，子育ての孤立化などの時代潮流や今日的課題を踏まえ，これらに的確に対応した施策を展開することにより，少子化の流れに歯止めを掛け，持続可能な地域社会の実現を図るため，現計画を改定するものでございます。

次に，資料3-1を御覧ください。

第二期徳島県子ども・子育て支援事業支援計画（案）についてでございます。

現計画が今年度末に終期を迎えることから，幼児教育・保育の無償化，児童福祉法の改正などの新たな動向を踏まえ，待機児童の早期解消をはじめとする課題解決のために，市町村が策定する計画に基づく取組が円滑に実施されるよう，必要な支援を行うために策定するものでございます。

次に，資料4-1を御覧ください。

徳島こども未来応援プラン～徳島県社会的養育推進計画～（案）についてでございます。

平成28年改正の児童福祉法において，子供が権利の主体であることが明記されたことを踏まえ，子供の権利を守り支援する体制を整え，児童虐待の未然防止につなげるとともに，家庭養育を推進することで子供の最善の利益を実現するため，策定するものでございます。

次に，資料5-1を御覧ください。

徳島県ひとり親家庭等自立促進計画（案）についてでございます。

現計画が今年度末に終期を迎えることから，これまでの成果や課題，昨年8月に実施したひとり親家庭等実態調査の結果等を踏まえ，今後なすべき方向性と施策について，子供の貧困解消に向け，児童の権利擁護の精神にのっとり，ひとり親が自立し，子供が夢と希

望を持つことのできる社会の実現を目指し、策定するものでございます。

次に、資料6－1を御覧ください。

「徳島県気候変動対策推進計画（緩和編）」（案）についてでございます。

パリ協定、SDGs採択後の世界の潮流や国の長期戦略の策定などを踏まえ、環境首都とくしまとして、脱炭素社会の実現に向けた気候変動対策をけん引するため、新たな計画を策定するものでございます。

なお、各計画の詳細につきましては、計画案冊子をお手元にお配りしておりますので、御参照いただければと思います。

次に、資料7を御覧ください。

東京2020オリンピックネパール代表チームの事前キャンプ実施に関する協定の締結についてでございます。

本県では、ドイツ、カンボジア、ネパール、ジョージアの4か国をホストタウン登録し、キャンプ地誘致活動を進めてきたところ、去る1月20日、ネパールオリンピック委員会との包括協定及び同国水泳協会及びアーチェリー協会との基本協定を締結し、オリンピック事前キャンプを本県で実施することについて、合意に至りました。

これにより、ホストタウン登録国との事前キャンプ基本協定は、全て締結が完了し、今後、代表チームがすばらしい結果を得られるよう全力でサポートするとともに、県民の皆様にオリンピック・パラリンピックを実感していただき、未来の夢や希望を育むレガシーとなるよう、全力を傾注してまいります。

報告事項は以上でございます。

御審議のほど、よろしく願いいたします。

岡田委員長

以上で、説明等は終わりました。

これより質疑に入ります。

それでは、質疑をどうぞ。

岩丸委員

質問ではないのですが、少しお願いをしておきます。

うろ覚えで申し訳ないのですが、近代オリンピックの父でクーベルタン男爵というのがいて、確かオリンピックの意義は勝つことでなく参加することであると言っていたと思います。オリンピックは今年あるのだけれど、今のオリンピックは、参加することは天才みtainな者しか参加できない感じだし、またメダルを取らないといけないような感じになっているのですが、それに比べてワールドマスターズゲームズ2021関西は、基本的には誰でも参加できるというふうにお聞きしております。

そんな中で、この前の関西広域連合の中でも少し話題に出たのですが、ほとんどPRができていないのではないかと。

それと、2月1日からエントリーがスタートしているのですが、それを地元やいろいろな所で話をするのに本当ですかという話が多いので、スタートして大方1週間がたとうとしているのですが、その中で特別粋みtainなのが1割ぐらいあったかで、あとの8割、9

割は一般参加ということになっているのですが、これは今どういう状況なのかをお知らせいただけたらと思います。

エントリー期限も確かあったと思うので、それだったら参加したかったという人が後から出てくるようでは困ると思いますので、是非もう少しPRもしてほしいし、エントリーの状況をお知らせいただけたらということをお願いしておきます。

益田スポーツ振興課ワールドマスターズゲームズ担当室長

ただいま、ワールドマスターズゲームズ2021関西のエントリー開始の状況につきまして、御質問いただいております。

委員おっしゃるように、2月1日からエントリーを開始しております。アーリーエントリーというシステムもございまして、事前に1月6日からアーリーエントリー、そして2月1日からは一般の方どなたもが参加できる、一般エントリーも開始されたところです。

本県では、カヌー・スラローム、ゴルフ、ボウリング、トライアスロン、アクアスロン、またウエイトリフティングは世界選手権を兼ねており、世界選手権で出場資格が得られることになっておりますので、それを除く5競技種目が2月1日からエントリーを開始されたところであります。

今、委員から御指摘がございました、まだPRが十分でないのではないかとこのところにつきましては、2月1日、おもてなしの拠点となりますマスターズビレッジ徳島、徳島駅周辺でイベントを開催したところでございます。知事とJR四国の半井社長が出席いたしまして、いよいよエントリーがスタートしたというのを大々的にPRしたところでございます。

エントリーは、約1年1か月、来年の2月末までの期間となっておりますが、先着順でございます。30歳以上の方につきましては、先着順で参加できることになっておりますので、今おっしゃっていただいた申し込もうと思っていたのに一杯で申し込めなかったというのは、我々にとっては非常に有り難い申出ではあるのですが、そういうことがないようにこれからも周知に努めてまいりたいと思います。

岡田委員長

ほかに質疑はございませんか。

(「なし」と言う者あり)

これをもって、質疑を終わります。

以上で、県民環境部関係の調査を終わります。

これをもって、総務委員会を閉会いたします。(16時21分)